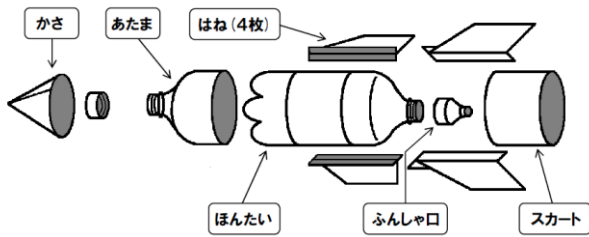


水ロケット

ねらい	<p>ペットボトルの特性を生かし、水ロケットを作って、飛ばす活動を通して、創作の楽しみを味わうとともに、用具の安全な使い方を知る。</p> <p>空気圧を推進力に変える現象を通して、科学への関心を高める。</p>
時間	2時間30分（発射実験までを含む）
費用	厚紙50円 ビニルテープ50円
対象	小学生以上
人数	50人程度
場所	創作の館，多目的ホール，つどいの広場
準備・道具	<p>【参加者が用意する物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル（炭酸系のくびれていない円筒形のもので500mlを2本または2ℓを1本） <p>【ふれあいセンターが準備する物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニルテープ ・工作用カッター ・はさみ ・定規 ・油性ペン ・ホッチキス ・厚紙(型つき) ・噴射口 ・空気入れ ・発射台
展開	<ol style="list-style-type: none"> 1 用具の準備 2 集合，人数確認 3 作り方の説明，注意事項，用具の配布 4 創作開始 <ol style="list-style-type: none"> (1) ペットボトルを頭とスカートの部分に分ける。 (2) 本体に頭とスカートをつける。 (3) 厚紙ではねとかさを作り，模様などを描き，本体につける。 (4) 完成したロケットを飛ばす。 <ol style="list-style-type: none"> ア ペットボトルに，水を半分ぐらい入れる。（250ml 程度） イ 本体に噴射口を取り付け，発射台にセットする。 ウ 空気入れで空気を入れて発射する。（15回程度） 5 後始末と用具の返却 6 まとめ（相互鑑賞等） 7 解散
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全面には十分気を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・カッターの取り扱いに注意する。 ・水ロケットを発射する際は，大人の人と一緒に飛ばし，人に向けて飛ばさない。また，障害物のない広い場所で飛ばす。 ○ 用具等は大切に扱い，元の場所に確実に返却する。 ○ ゴミなどの後始末や研修室の清掃を行う。

水ロケット (500ml ペットボトル 2 本)

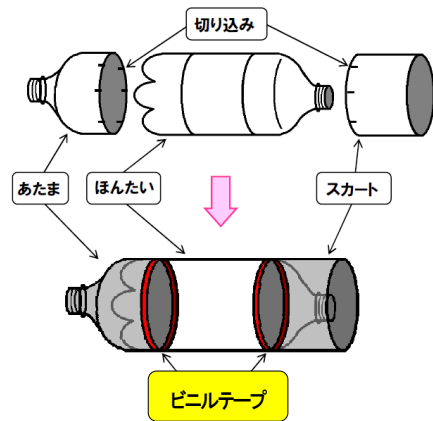
【分解図と部品の名称】



【準備するもの】

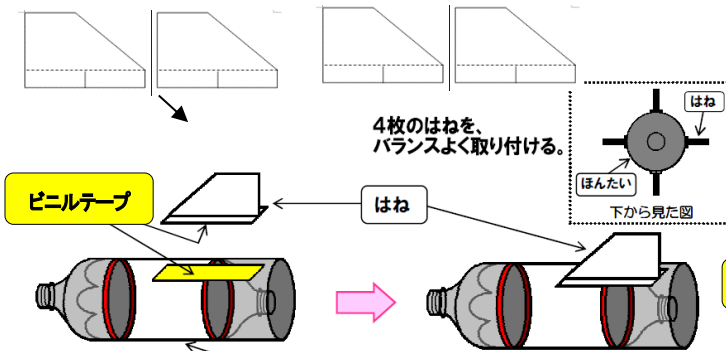
- 500ml ペットボトル(炭酸系) × 2 本
- ビニルテープ
- 工作用カッター
- はさみ
- 定規
- 油性ペン
- ホッチキス
- 厚紙 (型つき)
- 空気入れ(発射口付き)
- 発射台

- 1 ペットボトルを頭とスカートの部分に分ける。
- 2 本体に頭とスカートを付ける。
※ 接着剤やホッチキスで接着した後、
ビニルテープで補強する。

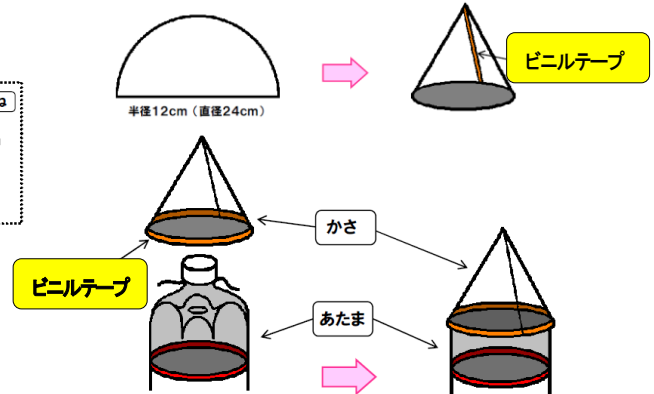


- 3 厚紙からはねとかさの型を切り抜き、模様などを描き、本体に取り付ける。

① はねの取り付け



② かさの取り付け



- 4 水ロケット完成！ 噴射口を取り付け、発射台に置いたら、ロケット発射！

- ① 水を入れ、発射口を付ける。
- ② 空気入れで空気を入れる。
- ③ 安全を確認して発射する。



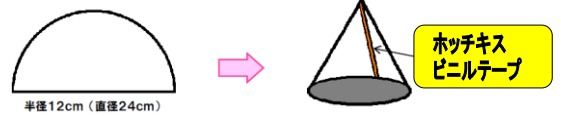
水ロケット (2ℓペットボトル 1本)

【準備するもの】



- 2ℓペットボトル (炭酸系) ×1本
- ビニルテープ • ホッチキス
- はさみ • 油性ペン • 厚紙 (型つき)
- 空気入れ (発射口付き) • 発射台

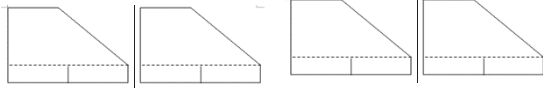
かさの取り付け



- 1 厚紙からはねとかさの型を切り抜き、かさを三角すい状にホッチキスで接着した後、ビニルテープで補強する。
 - 2 ペットボトルの底の部分に、切り抜いたかさの部分を取り付ける。
- ※ ビニルテープや油性ペンで模様を付ける。



はね (4枚)



- 3 はねは切り込みを入れ、ビニルテープでペットボトルに取り付ける。

4 水ロケット完成！ 噴射口を取り付け、発射台に置いたら、ロケット発射！

- ① 水を入れ、発射口を付ける。
- ② 空気入れで空気を入れる。
- ③ 安全を確認して発射する。

